

今後の進め方について (案)

関東エコロジカル・ネットワーク推進の経緯

- H19 ●第三次生物多様性国家戦略（「エコロジカル・ネットワークの形成」が位置づけられる）
- H20 ●国土形成計画・全国計画の閣議決定（「エコロジカル・ネットワークの形成」が位置づけられる）
- H21 ●首都圏広域地方計画の策定（「南関東水と緑のネットワーク形成プロジェクト」が挙げられる）

広域ブロック自立施策推進調査
「南関東における水辺環境エコロジカル・ネットワーク形成による魅力的な地域づくり検討調査」の実施



「関東エコロジカル・ネットワーク形成に関する検討委員会」の設立

- 第1回検討委員会
- 第2回検討委員会

渡良瀬
ワーキング

荒川
ワーキング

千葉県
ワーキング

●3つのエリアでWG開催

- H22 (2010) ●生物多様性国家戦略2010
- 第3回検討委員会

- H23 (2011) ●第4、5回検討委員会

- H24 (2012) ●生物多様性国家戦略2012-2020
- 第6回検討委員会

「関東エコロジカル・ネットワーク推進協議会」の設立

- 第1回推進協議会

- H26 (2014) たね地づくり専門部会
- 定着地づくり専門部会
- 人・地域づくり専門部会
- 第2回推進協議会 → 「基本構想」策定

- H27 (2015) ●第3回推進協議会 → 「基本計画」策定

- H28~R1 ●第4~7回推進協議会

- R2 (2020) ●気候変動を踏まえた水災害対策のあり方について（答申）
（生態系ネットワークに配慮した水害対策が位置づけられる）
- 第8回推進協議会 → 「基本計画」見直し（案）の検討

- R3 (2021) ●第9回推進協議会 → 「基本計画」改定版の策定

- R4 (2022) ●第10回推進協議会 → 「基本計画」改定版の推進・進捗把握

エリア協議会を設置
●利根運河周辺エリア（H26）
●渡良瀬遊水地エリア（H27）
●荒川流域エリア（H29）
※利根川下流エリアでも、協議会設置にむけて調整中

「コウノトリ・トキの舞う関東自治体フォーラム」

コウノトリ・トキの野生復帰を目指して、栃木県小山市、埼玉県鴻巣市、千葉県野田市・いすみ市等で計画づくりや協議会の発足等の取組みがスタート（H22.7）

- 野田市でコウノトリの飼育開始

- 野田市でコウノトリの放鳥開始

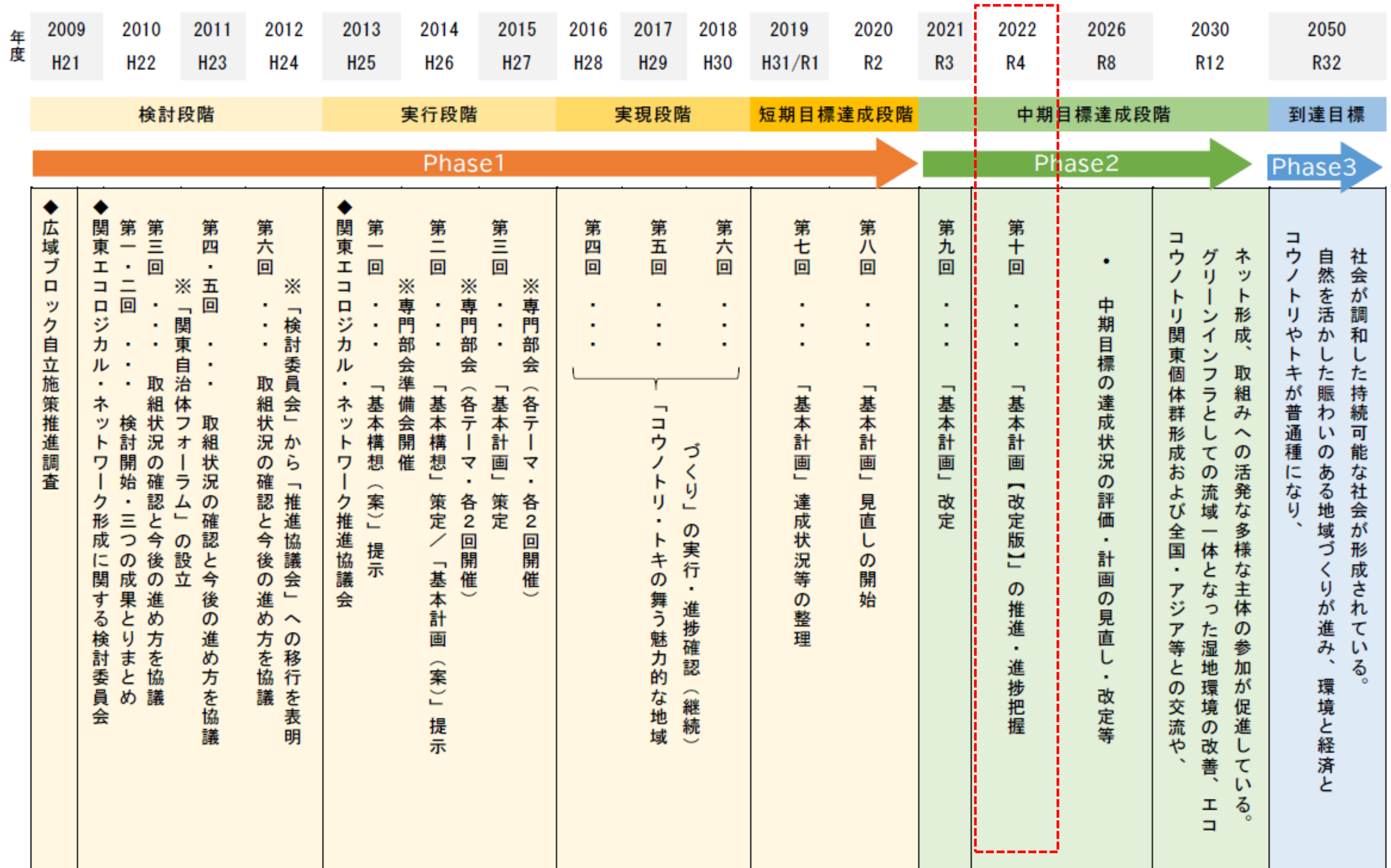
- 野田市放鳥個体と鳴門市から飛来した個体がペアを形成、渡良瀬遊水地でコウノトリのヒナ2羽が誕生、巣立つ

- 鴻巣市でコウノトリの飼育開始

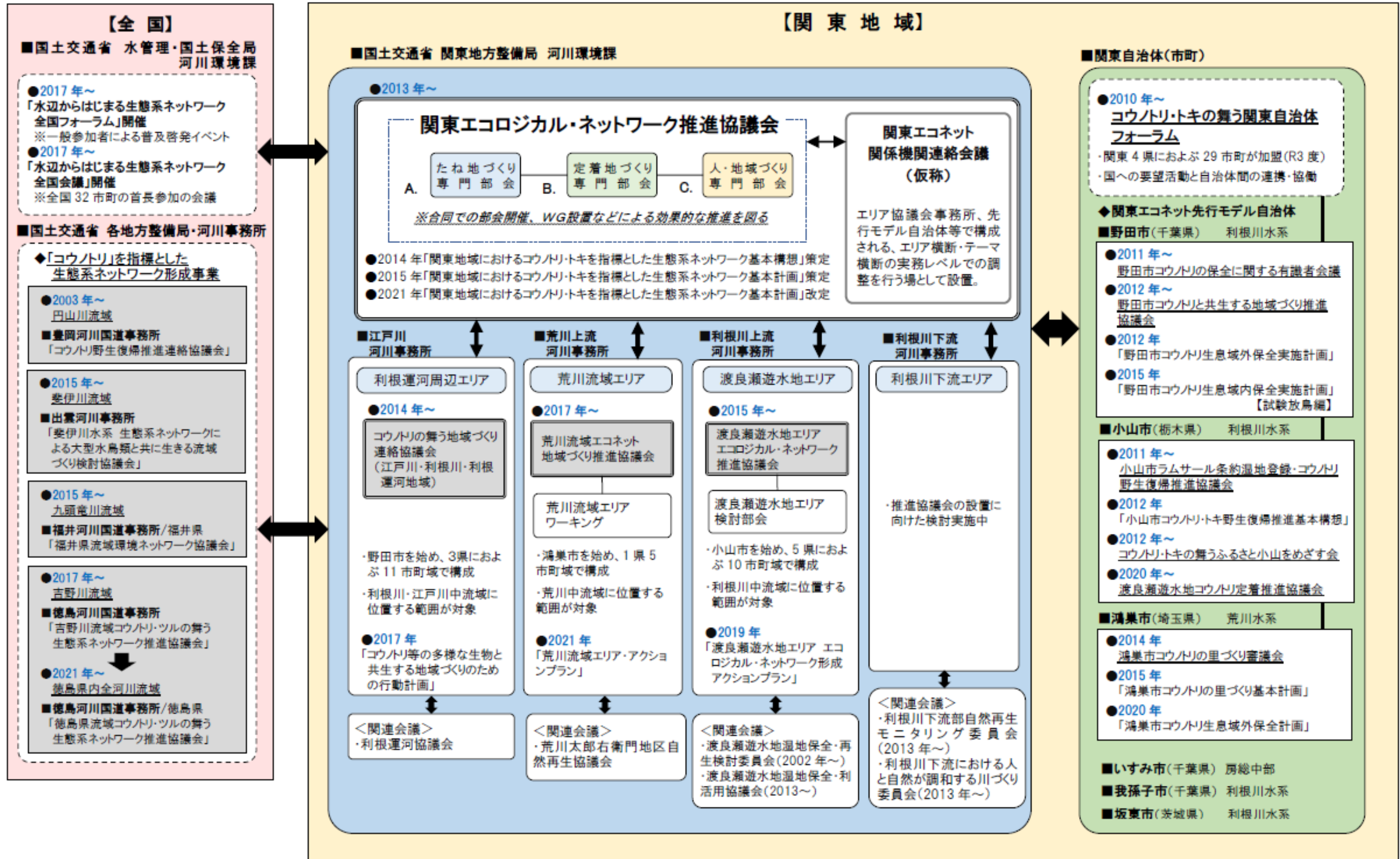


5県におよぶ29市町が加盟し、国に支援を要望すると共に、関係自治体で広域連携を図っています。

関東エコロジカル・ネットワーク推進ロードマップ



関東エコロジカル・ネットワーク推進体制



関東エコロジカル・ネットワーク推進の取組メニュー

(1) 『関東エコロジカル・ネットワーク全体（共通）』

- ① 【継続】「推進協議会」、3つのテーマの「専門部会」及び個別テーマ毎のワーキング等を通じて、「改定基本計画」の実行・推進
- ② 【新規】推進協議会・各エリア協議会の関係主体等との連携・調整（「関東エコネット関係機関連絡会議（仮称）」の開催）
- ③ 【継続・新規】関係主体等と連携した広報活動（JBF2023等）・「関東エコネット推進協議会設立10周年記念シンポジウム」の開催
※末尾資料参照

(2) 『コウノトリ飼育・放鳥条件整備（たね地づくり）専門部会』

- ① 【継続】関東広域の救護・事故防止対策への効果的な取組みの推進に向けた検討・実施
救護や事故防止対策に係る勉強会の開催／メーリングリストの見直しによる情報発信の試行／トキ等に係る関連情報の収集・共有
- ② 【継続】関東地域のコウノトリ・トキの野生復帰とエコネットに関する認識・理解の促進に関する検討・実施
巡回パネル展及び新たな周知PR方策実施に向けた検討／関東エコネットHPの改訂に向けた検討・調整／メーリングリストによる情報共有の試行

(3) 『コウノトリ生息環境整備・推進（定着地づくり）専門部会』

- ① 【継続】『流域治水と連携した関東地域コウノトリ生息環境整備計画（案）』の作成
「流域治水と連携した関東地域コウノトリ生息環境整備計画（案）」の作成／各エリアのアクションプランへの反映に向けた協議・調整
- ② 【継続】生息環境整備・推進支援の検討
「関東エコネット関係機関連絡会議（仮称）」の開催／関係事業実施主体の参加による「エコネット・流域治水等事業連携モデル地区」WGの開催検討

(4) 『コウノトリ地域振興・経済活性化（人・地域づくり）専門部会』

① 【継続】コウノトリやトキ等とくらす地域学習プログラムの検討・実施

コウノトリやトキなど生物多様性と、流域治水、歴史・文化、エコネット等のテーマを包括した「地域学習プログラム（案）」の作成

② 【継続】環境価値を重視したブランド農産物・商品の開発・生産・販売促進と地域還元方策の検討・実施

ブランド農産物・商品の開発・生産・販売促進の機会創出（ツーリズムとの連動を含む）の検討／地域還元方策（案）の検討

③ 【継続】産官学民セクター間の交流・連携・協働の促進に向けた検討

交流拠点施設を核とした湿地の保全・再生活動、環境学習等を通じ、産官学民の連携促進の検討／関東内・外の学校間の交流授業の拡充

「関東エコネット推進協議会設立 10 周年記念シンポジウム」の開催に向けて

■開催時期	令和 5(2023)年 11 月 ※平日午後または土日午後
■シンポジウム名称 (仮)	「関東エコネット 10 周年記念 多様な生きものでつながる地域づくりシンポジウムⅡ ～関東エコネット 10 年の成果とこれから～」
■開催のねらい	<ul style="list-style-type: none"> ・ 関係者間の今後の方向性および関連情報の共有、次の 10 年に向けた気運の盛り上げ ・ ひろく一般への普及 PR (とにかく関東エコネット、シンボルとしてのコウノトリ・トキを知ってもらう。認知度向上) ・ 新しい担い手 (今後の 10 年に主体的に関わる人) の確保、各エリアの取組の新たな展開につなげる
■対象	<ul style="list-style-type: none"> ・ 一般市民 ・ 関東エコネットの取組に関わっている各主体 (行政 (国県市町)、NPO・NGO、事業者、農家、教育関係者等)
■開催場所 (候補)	関東エコネットに関係する自治体の会場 / 東京都美術館講堂 (上野) / さいたま新都心合同庁舎 1 号館講堂 等
■開催内容	<p><シンポジウム> 関東エコネット関係者を主な対象とし、 関東エコネット 10 年の成果報告と今後 10 年の展望・方針等を発信・共有する。</p> <ol style="list-style-type: none"> ①開会挨拶・基調講演：涌井会長 ②関東エコネット・自治体フォーラム関連主体によるリレー講演 (自治体首長、エリア協議会、市民団体、学校関係等) ③関東以外のエコネットに取組んでいるエリア関係者 (徳島、円山川、佐渡市等) ④総括・宣言等 <p><ブース展示> 一般を対象に、関東エコネットやコウノトリ・トキについて知ってもらい認知度向上をはかる。 ※関東エコネット関係主体によるブース展示 (巡回パネル展との連動も含む)</p> <p><エクスカージョン> 関係者・一般を対象に、実際に活動の場をフィールドとして、 関東エコネット関係主体の企画・運営による体験等ツアーを開催。</p>